

# 安全の手引き

令和7年4月9日  
在ハンガリー日本国大使館

## 目次

はじめに

### 【防犯】

- 1 ハンガリーの治安情勢……………2
- 2 邦人の被害状況……………2
- 3 主な被害罪種と傾向と対策……………2
  - (1) すり
  - (2) 置き引き
  - (3) 路上強盗、ひったくり、暴行等
  - (4) 自動車盗・車上狙い
  - (5) ぼったくり
  - (6) 空港での盗難

### 【事故】

- 4 交通事情と事故対策……………6
  - (1) 車を運転する際の注意事項
  - (2) 道路を横断する際の注意事項

### 【自然災害】

- 5 概要
  - (1) 備え
  - (2) 緊急時の行動

### 【緊急連絡先】

- 6 緊急連絡先……………8

おわりに

## はじめに

ハンガリーは、他の欧州各国と比べて、大規模テロ、暴動、クーデター等が発生する危険性は相対的に低い一方、在留邦人の方々が、すりや置き引き等の犯罪被害に一定数遭遇していることから一般犯罪の被害に遭うリスクはあります。

当館は、皆様の安全対策の一助となるよう「安全の手引き」を作成し、ここ数年間の被害事例をもとに、犯罪の傾向と効果的な安全対策を紹介するとともに、交通事故に遭わないようにするための注意事項も紹介しておりますので、是非ご活用ください。

### 【防犯】

#### 1 ハンガリーの治安情勢

近年、ハンガリー政府は治安対策に力を入れ、国内法の改正、刑法の厳格化、警察官の街頭活動の強化等の施策を次々に講じた結果、犯罪認知件数は2013年以降、(件)年々減少していたものの、2024年は約23万件と前年(17万件)に比べて犯罪件数の増加が見られます。

一方、ハンガリーにおける犯罪認知件数を、2024年の日本の刑法犯認知件数約73万件と比較すると、件数そのものは非常に少ないですが、人口比での発生件数ではハンガリーの件数が多く、日本よりも高い犯罪発生率となっている。

#### 2 邦人の被害状況

毎年多くの日本人観光客がハンガリーを訪れており、日系企業関係者や留学生など約1,700人の在留邦人がハンガリーに居住しています。その中で、日本人が被害者となった犯罪は、毎年数件発生しています。

すりや置き引き、観光名所等を中心に旅行者の被害が多く発生しています。

#### 3 主な被害罪種の傾向と対策

##### (1) すり

###### ① 傾向

- トラムや地下鉄に乗車する際、人がドアを意図的に塞ぐように立っているため乗車できずにいると、別の者が後ろから乗車するふりをしながら後ろポケットに入っている財布などを狙われた。
- バス、トラム、地下鉄等の公共交通機関で、かばんを後ろ掛けにする、リュックサックなどを背負っている場合は被害対象となりやすい。

###### ② 対策

- 人から何かを依頼された場合は断り、応じない。やむを得ず依頼に応じる場合には、荷物に常に注意を払うとともに、仲間と思われる怪しい人物がいないかを必ず警戒・確認しましょう。
- カバンは必ず前掛けで持ち歩き、横掛け、後ろ掛けにはしない。特に公共交通機関や人混みでは、常にカバンに注意を払いましょう。
- 財布は、ズボンの後ろポケット、ウエストポーチ等、すられやすい場所に入れないようにしましょう。

## (2) 置き引き

### ① 傾向

置き引きは、最も犯罪被害の多い一つで、わずかな隙に持ち去られるケースもあります。ブダペストと周辺国（特にオーストリア、チェコ）を結ぶ国際列車内や駅構内において多く発生しています。

- 乗車中、眠ってしまい起きたら座席棚等の肌身から離れた場所に置いた荷物が無くなっていた、または足下に置いていたカバンを数秒間、目を離れた隙に盗まれた。
- 切符売り場の窓口で切符を購入している間にスーツケースを盗まれた。
- 写真撮影に夢中になっていたところ、足元に置いていたカバンを盗まれた。

### ② 対策

- 乗車中は居眠りをしない。
- 自分の荷物には絶えず注意を払い、肌身から離さない。
- 駅に停車中、不自然に乗り降りを繰り返したり、座席を探すふりをしている者に気を付けましょう。

## (3) 路上強盗、ひったくり、暴行等

### ① 傾向

ほとんどの事案が深夜時間帯に被害者が一人で行動している時に発生しています。

- 深夜時間帯に比較的明るい大通りを歩いていると、向かいから歩いてきた酒に酔った男に、突然顔面を殴られた。
- 朝6時頃（夜明け前）、自宅駐車場で出勤準備をしていたところ、背後から近寄ってきた男に殴打され、現金等を盗まれた。
- 居酒屋に一人でお酒を飲みに行き、深夜1時頃、お店を出たところ、路上で突然複数の男に殴られ、財布を奪われた。

### ② 対策

- 貴重品を携行する場合は、カバンを肩掛けにする、車道と反対側の手に持つなどの工夫をしましょう。
- 見知らぬ者の誘いには乗らないようにしましょう。また、自分が行ったことのないよく知らない店での飲食は避けましょう。飲み物を置いて席を離れないようにしましょう（過去には、睡眠薬が混入される事案報告あり）。
- 不必要な夜間の外出（特に深夜時間帯）は控えましょう。
- 夜間に外出する際は、一人での外出を避けるとともに、街灯が明るく人通りの多い通りを通行するよう心掛けてください。また、常に周囲に注意を払い、不審者に対する警戒を怠らないようにしてください。不審者を発見した場合は、直ちに、その者から離れるとともに、人目のある場所に移動するようにしましょう。

- 万が一強盗やひったくりに遭ってしまった場合、自分の生命・身体の安全を最優先とし、むやみに抵抗することのないようにしてください。

#### (4) 自動車盗・車上狙い

##### ① 傾向

被害に遭いやすいのが路上に駐車中の車両であることから、ガレージ付のアパートを選ぶ、外出時は原則として有人監視のある駐車場を利用すること等が大切です。鍵をこじ開ける、窓ガラスを割るなどして、車内から貴重品やバッグ等を盗み出す「車上狙い」被害も発生しています。

- 子どもの幼稚園送迎のため、幼稚園前路上に車両を停めて10分後に戻ると、後部座席の窓ガラスが割られており、座席に置いていたカバンがなくなっていた。
- ブダペスト市郊外の駐車場で駐車券を購入しようと降車。購入方法が分からずにいると、見知らぬ男が近付いてきて購入の手助けをしてくれたが、車に戻ると、車内に置いてあったカバンがなくなっていた。
- 同僚の車のトランクにカバンを入れたまま1時間ほど車を離れた。その後車に戻りカバンを取り出そうとしたところ、トランクの鍵穴がこじ開けられており、中のカバンがなくなっていた。

##### ② 対策

- 路上駐車をする場合は、貴重品は全て車外に持ち出し、かつ駐車時間は最小限にするように心掛けましょう。
- アラーム装置のほか、駐車中はハンドルロックやシフトロックなどで補強しましょう（犯人に盗むことが難しい車両であることをアピールする効果もあります。）。
- 短時間の駐車であっても確実な施錠を心掛けましょう（妨害電波を発信して、リモコンキーからの施錠電波を阻止する手口も存在します。）。
- 駐車する際には、手荷物を車内（含むトランク）に置かないようにしましょう。

#### (5) ぼったくり

##### ① 傾向

ぼったくりバー・レストランと手を組む若い女性らが、土地勘のない観光客を標的として客引きを行います。客引きを行った女性らは、被害者に犯行場所を特定させないように、声掛けを行った場所からレストランへ直行せず、遠回りをしながら店に向かいます。飲食後、法外な値段を請求されて被害者が店側に抗議すると、店の裏から屈強な男達が現れ、支払いを強要します。

- 2人組の女性が「写真を撮ってほしい」と言って話し掛けた後、「良い店を知っているのと一緒にどうですか」と誘ってきた。店に入ると注文する前にお酒がサーブされ、その後すぐに法外な値段を要求され、断ると屈強な男達が支払いを強要してきた。

- 1時間ほどお酒を飲んで（1万円程度）帰ろうとしたところ、約10万円の支払いを要求された。警察へ連絡する旨伝えたところ、店側が態度を急変させ「支払いはらない」と言ってきた（未遂）。

② 対策

- 客引きの誘いには応じないようにしてください。特に若い女性が二人組などの複数で話し掛けてきた場合には、客引きであると考えましょう。
- 店まで入ってしまった場合は、注文をする前に、メニューに料金が書かれているか、その料金が妥当な金額かをよく確認するようにし、トラブルに発展しそうな場合には、その場で警察へ通報しましょう。

(6) 空港での盗難

① 傾向

出発・到着ロビーにおけるすりや置き引きに十分ご注意ください。また、リスト・フェレンツ（ブダペスト）国際空港では、制限区域内において預け荷物のスーツケース内容物を狙った窃盗事件が度々発生しており、当館でも旅行者の方から複数の被害報告を受けています。

② 対策

- 空港では常に荷物から目を離さないようにしましょう。
- 預け荷物の中に貴重品は入れないようにしましょう。

【事故】

4 交通事情と事故対策

(1) 車を運転する際の注意事項

① 傾向

信号は、赤から青のランプに変わる前に、黄色のランプがつきます。多くのドライバーは、黄色のランプに変わると同時に車を発進させていますが、信号の変わり目は左右からまだ車が来る危険性があります。また、スピード超過かつ車間距離を空けない車が多いです。

② 対策

- 黄色信号は、赤と同じく「停止」を意味します。信号が黄色のランプに変わっても、急いで発進しようとせず、信号が青に変わってから左右の安全を確認して車を発進させましょう。
- 制限速度を守り、適度な車間距離を空けて運転しましょう。後ろにびったり付かれた場合には、慌てずに運転するとともに、後方の車にわざと追い越しをさせるのもよいでしょう。

【参考】 当館では、皆様の交通安全に役立つよう、別途、「交通安全の手引き」も作成していますので、是非ご一読ください。

(2) 横断歩道を渡る際の注意事項

① 傾向

道路を渡るため横断歩道で立ち止まっていると、車は比較的止まってくれますが、中にはそのまま通過する車もあり、不用意に道路に出るのは非常に危険です。

## ② 対策

- 道路を渡る際は、必ず横断歩道を渡りましょう。
- 車が止まったことを確実に確認してから、横断歩道を渡るようにしましょう（運転手とアイコンタクトをとりながら、手で合図するのも有効です）。  
特に、夜間の横断には注意しましょう（運転手から歩行者は見えにくくなっています）。
- 片側2車線の道路では、手前の車線を走る車が止まっても、一気に横断歩道を渡るのではなく、全ての車線の車が止まるのを確認してから順次横断しましょう。

## 【自然災害】

### 5 概要

当地では大きな自然災害の発生は少ないものの、昨今の気候変動により重大な自然災害が発生しないとは言いきれません。自然災害に備えて、以下の点にご留意ください。当地の場合は、局地的なゲリラ豪雨や川の氾濫による洪水等が起こることが想定されます。

#### (1) 備え

- 連絡手段の整備（在留届・旅レジの登録：P8「おわりに」参照）  
滞在期間や連絡先など、在留届の登録情報を常に最新の情報を登録するように心がけてください。緊急事態の際には、当館より安否確認や各種情報を受け取ることができます。
- 備蓄品の整備  
緊急事態が発生した際は、食料品、飲料水、医薬品等の必需品の入手が困難になることが想定されますので、日頃より非常物資を備蓄するように心がけてください。
- 危険箇所・避難場所の確認  
生活圏の危険箇所や避難場所の確認を行い、安全な避難ルート・場所の把握に努めてください。

#### (2) 緊急時の行動

- 安全確保  
災害等の緊急事態が発生した場合は、各自安全確保（自宅待機、一時避難等）に努めると共に、可能な限り情報収集を行ってください。
- 安否確認  
緊急事態の規模によっては、大使館から在留邦人の皆様の安否確認を行います。但し、被害状況によっては、電話回線が不通になる事態も想定されます。大使館から皆様へ連絡をするように努めますが、可能な限り皆様から大使館へご連絡を頂くのと同時に日本にお住まいのご家族等に対しても無事を伝えてください。

## 6 緊急連絡先

### (1) 緊急通報用電話番号

- ① 警察:107
- ② 救急:104
- ③ 消防:105
- ④ 緊急用共通電話：112  
(警察、消防、救急等、あらゆる緊急事態に対応するEU加盟国共通の番号)

### (2) 在ハンガリー日本国大使館

- ① 所在地：1125 Budapest、Zalai út7.
- ② 代表電話番号：06-1-398-3100
- ③ ホームページ：<http://www.hu.emb-japan.go.jp/> 

### (3) 緊急時の簡単なハンガリー語

- ① 助けて  
シエギーチェン (Segítsen)
- ② 動けない  
ネム・トゥドク・モゾグニ (Nem tudok mozogni)
- ③ 警察を呼んでください  
ヒーヴィヤ・ア・レンドゥールシェーグット (Hívja a rendőrséget!)
- ④ 救急車を呼んでください  
ヒーヴィヤ・ア・メントゥート (Hívja a mentőt!)
- ⑤ 火事だ  
トゥーズ・ヴァン (Tűz van!)
- ⑥ 日本国大使館  
ヤパーン・ナジクヴェツチェーグ (Japán Nagykövetség)

## おわりに

平素からの準備

### 1 在留届(変更届、帰国・転出届)の大使館への提出

旅券法により、外国に住所又は居所を定めて3か月以上滞在する人は、在留届の提出が義務付けられています。在留届は、緊急事態発生時の大使館による安否確認や情報提供の基礎資料となりますので、未提出の方は提出をお願いします。

また、住所、電話番号、メールアドレス等、在留届の登録情報に変更のあった方は変更届、ハンガリー国外へ転出される方や日本に帰国される方は帰国・転出届の提出をお願いします。詳しい手続きについては、当館HP ([https://www.hu.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/consul\\_residential.html](https://www.hu.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consul_residential.html))をご覧ください。

### 2 【 た び し じ 】 の 登 録 (<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>)

外務省では、海外旅行をされる方々の安全対策として、「たびレジ」という海外旅行登録サービスを実施しています。「たびレジ」に登録していただきますと、登録期間中、外務省や、登録していただいた国を管轄する日本大使館など在外公館から発出される安全情報を受け取ることができる他、万が一、旅行先の国で緊急事態が発生した場合の緊急連絡や安否確認などに役立ちます。手続きは簡単ですので、ご旅行前には是非登録されるようにしてください。

### 3 被害に遭われた場合の大使館への連絡

不幸にも犯罪被害に遭われた方は、ハンガリー警察に対して、被害届を提出すると共にご面倒でも当館までご一報ください。被害内容によっては、今後、旅行者の方や在留邦人の皆様が同様の被害に遭わないように、個人が特定されないよう形で、注意喚起をする際等に活用させて頂く場合がございます。